

2021年3月11日
株式会社 CyberZ

報道関係者各位

「RAGE Shadowverse Pro League 20-21 リーグチャンピオンシップ」開催！
優勝の福岡ソフトバンクホークス ゲーミングが
賞金インセンティブ 1500 万円を獲得
～大熱戦にアイデンティティ見浦さんは「MC バトルの名勝負を彷彿」と興奮～

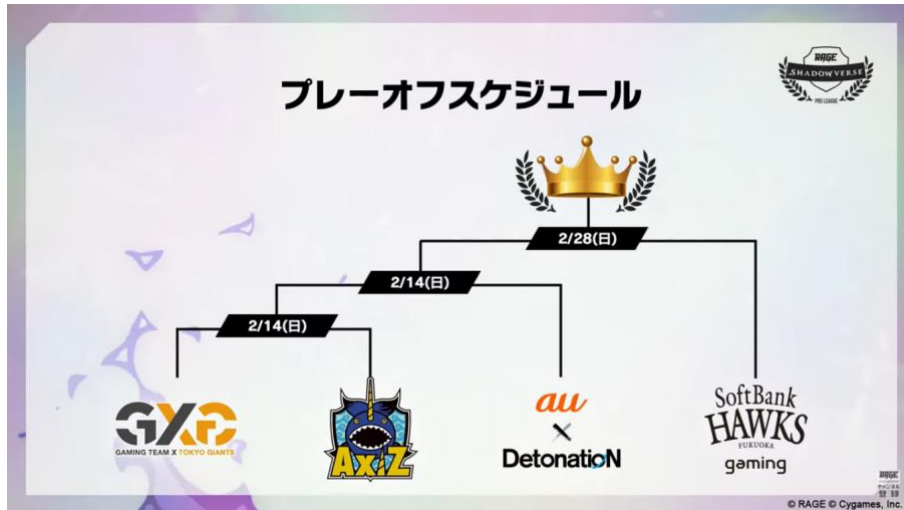
株式会社 CyberZ、エイベックス・エンタテインメント株式会社、株式会社テレビ朝日が運営する国内最大級の e スポーツイベント「RAGE」は、スマートフォンで遊べる対戦型オンライン TCG『Shadowverse』の大会「RAGE Shadowverse Pro League 20-21 リーグチャンピオンシップ」を2021年2月28日（日）に開催いたしました。



OPENREC チャンネル URL : <https://www.openrec.tv/live/p2zj95kjlw>

RAGE チャンネル URL : : <https://www.youtube.com/watch?v=m188mCE88DY&t=11777s>

2020年6月14日（日）からスタートした全8チームによる21節のリーグ戦を経て、2021年2月14日（日）よりその上位4チームによるシーズンファイナルを実施。28日（日）に開催された本決勝戦はプレーオフを勝ち抜いた au デトネーションとリーグ戦1位の福岡ソフトバンクホークスゲーミングによる頂上決戦が行われ、久々となるオフラインでのチーム戦に会場内では火花を散らすバトルが展開されました。



リーグチャンピオンシップは4人チームから選ばれたメンバーが対戦し、先に5勝した方のチームが優勝する形式の大会です。アドバンテージの1勝を含め、5対1という圧倒的な戦績で優勝したのは福岡ソフトバンクホークスゲーミング。最終試合で涙ながらにプレイする福岡ソフトバンクホークスゲーミングの選手、そして相手チームに勝利の拍手を送るauデトネーション選手たちの姿に、ゲストとして観戦したアイデンティティの見浦彰彦さんは「R指定と呂布カルマの試合を彷彿とさせた」とMCバトルの名勝負を引用し、ふたりの清々しい姿を賞賛しました。また同じくアイデンティティの田島直弥さんは「福岡ソフトバンクホークスゲーミングの選手の喜んでいる姿や涙を観ていたら……」と言葉を途切れさせ、涙を見せるかと思いきや仕込んでいたお菓子を食べ始めるという意外なおチ。「本番中に食べようと思っていたら意外と早く終わった」と福岡ソフトバンクホークスゲーミングの圧倒的な実力による早期決着を振り返りました。



表彰式では優勝した福岡ソフトバンクホークスゲーミングに1500万円のインセンティブや記念トロフィー、シーズンMVPとなったMURA選手に目録が授与されました。これを受け、チームのキャプテンであるたばた選手は今シーズンについて「それぞれ苦しい時期があったシーズンだったけど、チームとして最後まで諦めずに練習してよかった。本当にみんなありがとう」と涙を浮かべながら語り、大きな拍手を浴びていました。

■各試合の様子

【第1試合】福岡ソフトバンクホークスゲーミング“鷹の二十面相”バーサ選手 vs auデトネーション“盤面の魔術師”cross7224選手 (2Pick)

福岡ソフトバンクホークスゲーミングがリーグ戦1位のアドバンテージである1勝を得た状態で迎えた第1試合。提示されたリーダーやカードを選択し、その場で構築したデッキで戦う2Pickルールでの戦いとなります。

ここではバーサ選手が人気のリーダーであるビショップを選択できた一方、cross7224選手もネクロマンサーをリーダーにしたままのデッキに。解説からは「バーサのデッキに分がある」という声もありましたが、意地を見せたのはcross7224選手。相手のプレイぶりから重要カードであるカインドブライトが手札にないことを悟って、一気に攻勢を強めて勝利。“盤面の魔術師”という異名に恥じない力を見せつけ、戦況を五分に戻しました。



※この時点での戦績

福岡ソフトバンクホークス ゲーミング★

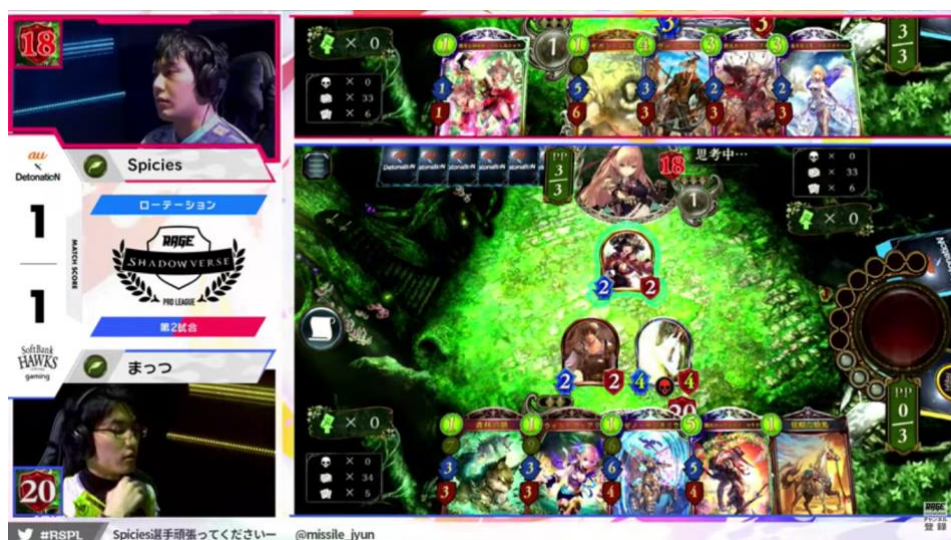
au デトネーション★

【第2試合】福岡ソフトバンクホークス ゲーミング “絶技の化身” まっつ選手 vs au デトネーション “レッドゲートサイボーグ” Spicies選手 (ローテーション)

第2試合からは3試合続けてローテーションルールとなり、各チームが事前に構築した5つのデッキを公開し、作戦タイムを挟みながらそれぞれに使用するデッキと選手を選んで対戦していきます。

オンラインで行なわれた今シーズンのリーグ戦とは異なり、この日はオフラインでの開催だったため、より作戦タイムはより緊張感のあるものに。2チームともホワイトボードにデッキ同士の相性表を書き出し、相手の出方をじっくり推測します。

作戦タイムを経て2チームが選んだのはどちらも“ロキサスエルフ”と呼ばれるデッキ。安定感がありどんな場面でも出しやすいデッキ同士での戦いとなりましたが、順調に手札を揃えていったまっつ選手が早々に相手の体力を削って勝利。連勝を狙っていたSpicies選手は苦渋の表情を見せていました。



※この時点での戦績

福岡ソフトバンクホークス ゲーミング★★

au デトネーション★

【第3試合】福岡ソフトバンクホークス ゲーミング “運命を手繰り寄せる剛腕” たばた選手 vs au デトネーション “不動の精密機械” ミル選手（ローテーション）

初戦から似た構成のデッキを選んだことで、互いのチームの認識が似ていると分析したのは au デトネーション。その分析どおり、第3試合も今度は“清浄ビショップ”デッキ同士での戦いとなり、両チームの選手が揃って苦笑します。

実況席からは長期戦が見込まれる声もありましたが、冴えた手筋により 10 ターンで勝利を手にしたのがたばた選手。自身の手札の状況から試合が長引くほど相手に流れがいくと読んだのか、10 ターンまでに積み掛けて見事相手の体力をゼロに。強プレイヤーであるミル選手を相手に、ふたたびミラーマッチを制しました。



※この時点での戦績

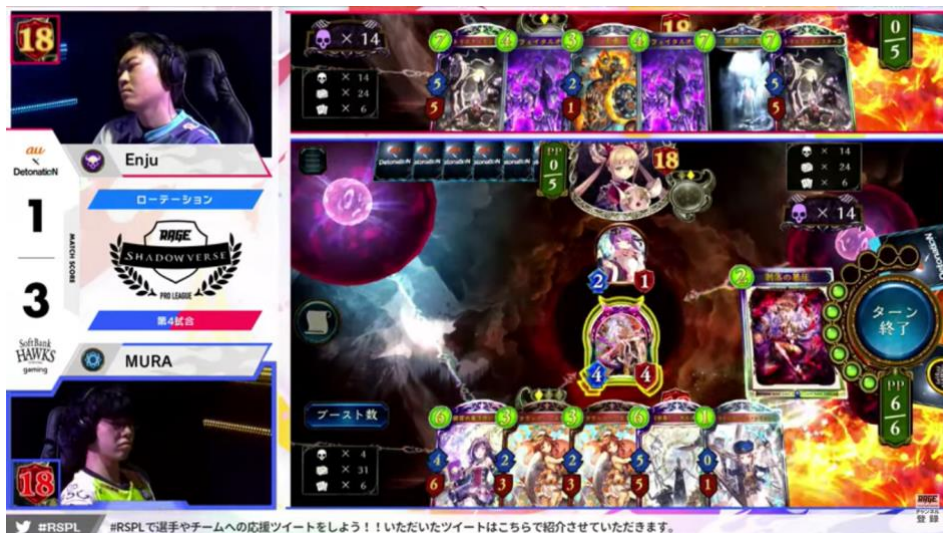
福岡ソフトバンクホークス ゲーミング★★★★

au デトネーション★

【第4試合】福岡ソフトバンクホークスゲーミング “努力の新星” MURA 選手 vs au デトネーション “西の絶対王者” Enju 選手（ローテーション）

ローテーション3試合目にして、ようやく異なるデッキの対決になりました。MURA 選手は“コントロールキヤルウィッチ”、Enju 選手は“デスブリネクロ”という組み合わせでしたが、ここでも福岡ソフトバンクホークスゲーミングが優勢に試合を進めます。

試合開始時の手札が万全で、さらにその後も抜群のドローが続いて笑みをこぼしたのは MURA 選手。彼はそのまま適切なカード選択で攻め続け、相手の隙を突いて勝利。「RAGE Shadowverse Pro League 20-21」のシーズン MVP らしい危なげない戦いでローテーションでの3タテを達成します。



※この時点での戦績

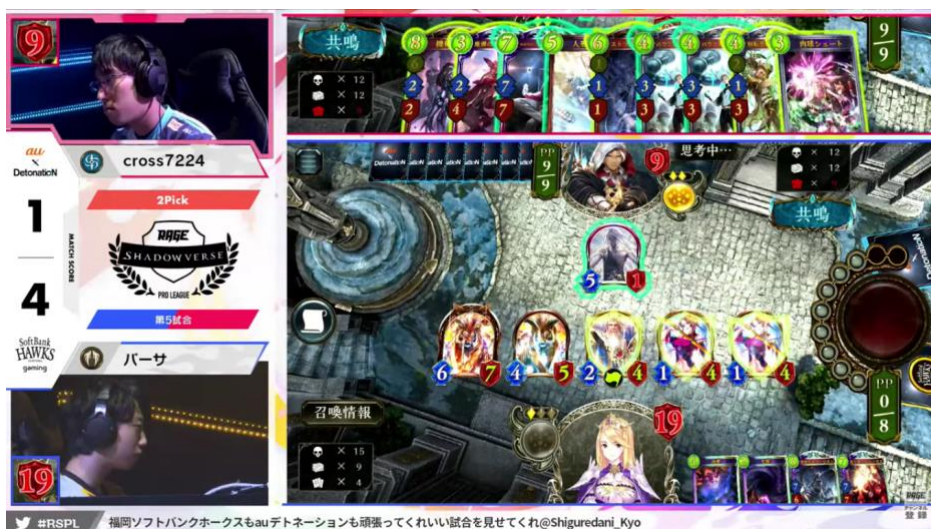
福岡ソフトバンクホークス ゲーミング★★★★★

au デトネーション★

【第5試合】福岡ソフトバンクホークス ゲーミング “鷹の二十面相” バーサ選手 vs au デトネーション “盤面の魔術師” cross7224 選手 (2Pick)

王手をかけられ、勝って次の試合へとつなぎたい au デトネーションの cross7224 選手。対するバーサ選手も、第1試合のリベンジのため、そして福岡ソフトバンクホークス ゲーミングの優勝のためにも負けられない。そんなふたりによる 2Pick ルールでの戦いが、今シーズンの最終試合となりました。

バーサ選手は第1試合と同じくビショップを選んで、さらにバランスのよいデッキ構築に成功。一方でクロス選手はロイヤル、ネメシス、エルフという選択肢からネメシスをセレクトし、こちらも順調にデッキを構築します。しかし今度は盤石の展開を続けたバーサ選手が優勢に試合を進行。大局が決した終盤では感無量の表情で涙を浮かべながらプレイを続け、勝利時には会心のガッツポーズを見せました。



※この時点での戦績

福岡ソフトバンクホークス ゲーミング★★★★★

au デトネーション★

■表彰式



福岡ソフトバンクホークス ゲーミングメンバーが会場に揃った表彰式は、キャプテンのたばた選手が「バーサが勝ってくれたのが嬉しい」と破顔してスタート。そのバーサ選手は涙に言葉を詰まらせながら「(初戦で負けて) みんなに合わせる顔がなかったので、チームに勝ちを持ってこられてよかった」と絞り出します。さらに残るメンバーは互いに「チーム全員で練習したおかげで勝てた」と感謝し合い、結束力の強さを感じさせました。

そんな福岡ソフトバンクホークス ゲーミングを、Cygames の『Shadowverse』プロデューサー・木村唯人氏は「新型コロナウイルスの影響で多くの『Shadowverse』の大会がオンライン開催や延期となった。そんな中でもプロリーグの選手は長きにわたって素晴らしい試合を見せ、『Shadowverse』を最前線で盛り上げてくれた」と感謝を述べました。また「RAGE」プロデューサーの大友真吾氏は「従来1年2シーズン制でやってきたけど、今シーズンは21節の1シーズンとなった。本当に長丁場だったと思う」と選手や関係者を労いながら、「来年もプロリーグを開催する予定なので引き続き楽しみにしてほしい」と今後への期待を語り、長きにわたるリーグ戦を締めくくりました。

なお「RAGE」による『Shadowverse』の大会は、3月21日(日)に秋葉原UDXにて「RAGE Shadowverse 2021 Spring」GRAND FINALSが開催される予定です。

■「RAGE Shadowverse Pro League」とは

「RAGE Shadowverse Pro League」は、株式会社CyberZ、エイベックス・エンタテインメント株式会社、株式会社テレビ朝日、株式会社Cygamesが合同で開催する国内最大級のeスポーツ大会「RAGE」のプロリーグです。デジタルTCG「Shadowverse」のプレイヤーたちが、日本最高峰の戦いを繰り広げます。「AXIZ」、「au デトネーション」、「NTT-WEST リバレント」、「G×G」、「名古屋OJA ベビースター」、「福岡ソフトバンクホークスゲーミング」、「横浜F・マリノス」、「レバンガ☆SAPPORO」の8チームが戦います。20-21シーズンのリーグ戦は6月から2月まで開催されます。年間総額インセンティブは2400万円となっております。1位のチームには1500万円、2位のチームには500万円、3位のチームには300万円、4位のチームには100万円が授与されます。

<https://rage-esports.jp/league/sv/>

■Shadowverseについて

「Shadowverse」は、「フォロワー」、「スペル」、「アミュレット」という3種類のカードで40枚のデッキを編成して戦い、相手リーダーキャラクターの体力を0にしたら勝利となる、スマートフォンで遊べる対戦型オンラインTCG(Trading Card Game)です。2021年現在、日本語を含む9言語が世界にリリースされ、累計ダウンロード数は2,200万を突破しています。競技性の高さを生かし、優勝賞金1億1,000万円の世界

大会開催やプロリーグ設立など、eスポーツシーンにも参入しています。

<https://shadowverse.jp/>

■CyberZ について

代表取締役社長：山内 隆裕 (<https://twitter.com/brother0820>)

スマートフォンに特化した広告マーケティング会社として 2009 年に設立しました。スマートフォン広告における運用・効果検証、交通広告やウェブ CM の制作など、幅広いマーケティング事業を展開。日本に加えて、サンフランシスコ、韓国、台湾にも支社を構え、国内広告主の海外進出および海外広告主の日本展開支援も行っております。また、メディア事業としてゲーム動画配信プラットフォーム「OPENREC.tv」、eスポーツ事業として、国内最大級のeスポーツイベント「RAGE」を運営しております。CyberZ100%子会社としては、フィギュア販売やオンラインくじなどのオンラインエンタテインメント事業をおこなう「株式会社 eStream」、eスポーツに特化した広告マーケティング事業「株式会社 CyberE」の事業展開をしております。

■RAGE とは

RAGE

RAGE（レイジ）とは、次世代スポーツ競技「eスポーツ」に様々なエンターテインメント性を掛け合わせた、株式会社 CyberZ、エイベックス・エンタテインメント株式会社と株式会社テレビ朝日の3社で協業し運営するeスポーツイベントおよび、eスポーツリーグの総称です。

RAGEでは、主にオフラインで開催する一般参加型の「イベント」と、プロ選手による競技をオンラインで配信する観戦型の「プロリーグ」、2つのプロジェクトを実施しています。「イベント」では、複数のジャンルに渡るゲームタイトルが一堂に介し、各タイトルの最強王者を決めるeスポーツ大会のほか、会場限定の大会や新タイトルの試遊会、アーティストライブなども実施。

公式サイト：<https://rage-esports.jp/>

公式 Twitter：https://twitter.com/eSports_RAGE

公式 Facebook：<https://www.facebook.com/eSportsRAGE/>

公式 Instagram：https://www.instagram.com/esports_rage/

■ 本リリースに関するお問い合わせ

株式会社 CyberZ 広報担当：城戸

E-mail：press@cyber-z.co.jp Tel：050-5490-9001 Fax：03-5428-2318